

経専北海道観光専門学校（ホテル科）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

勤務するホテルの形態・所属部署に合わせて、お客様のニーズに応えられる接客技術で一連のサービスを提供し、周囲との協調性を大切にしながら、企業の方針・目標を理解した上で、顧客管理およびコスト意識を忘れず、主体的に業務を行う事ができる。

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に修得目標を下記のように定めます。

※徹底育成とは「能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導する」ことです。

《専門職業力》の修得目標

「知識」

ホテルビジネス実務検定2級を取得し、そこから得られる宿泊部門と料飲部門の基礎的な知識（宿泊・料飲部門で使用される用語及び備品名の知識。チェックインの事務手続き業務と案内業務の知識。西洋料理・飲料の概要知識。ホテルにおける英会話の基本定型文の知識）を現場で活用できることを目標とする。

「技術」

ホテル・レストランサービス技能検定3級の取得とホテルOPERAシステムを把握することで、来館されたお客様に対して宿泊部門・料飲部門ともにファーストコンタクトサービス（ホテルOPERAシステムを使い一般的なチェックイン業務ができる。チェックイン業務終了後、客室までの案内業務ができる。基本的なテーブルセッティングができる。朝食・昼食時の席までの案内とオーダーテイクができる）ができることを目標とする。

《社会人基礎力》の修得目標

目指す職業の社会的意義及び業務内容を理解すると共に、その魅力・遣り甲斐・厳しさを認識した上で、就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになる事、及び業界人として相応しい身嗜みと接客マナーを身に着ける事を目標とする。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

就業に必要な知識を身に付け、「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」「時間管理」を習慣化すると共に、仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解し、その為に必要なコミュニケーション能力を高める事を目標とする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

- 【1】「戦力化」する人材となるために教育目標で定めた専門職業力の修得目標の達成を目指します。
- 【2】「辞めない」人材となるために教育目標で定めた社会人基礎力と高い職業意識と意欲の修得目標の達成を目指します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職業力としての知識と技術は、ホテルビジネス実務検定2級やホテル・レストランサービス技能検定3級・OPERAシステムの把握に必要な教科目に加え、ホテルの現場で必要とされる実践的な技術（ホテルOPERAシステムを使い一般的なチェックイン業務ができる。チェックイン業務終了後、客室までの案内業務ができる。基本的なテーブルセッティングができる。朝食・昼食時の席までの案内とオーダーテイクができる）を教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ教科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。また、技術は学ぶだけではなく、接客を想定しどのように表現できるかを評価することとします。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は、社会人に求められるマナーの習得を基本とし、ホテルの現場で求められるコミュニケーション力を養うため、実践科目に於いてグループワークや実技発表の機会を多くとり、ホテルスタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成のために、学内での学びがホテルの現場でどのように活かされるのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整えるため、ホテルへの見学、訪問を繰り返し行うカリキュラムを編成します。それによりホテルスタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい観光業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

経専北海道観光専門学校（エアライン科国内線コース）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

突発的な事も含む空港または機内業務において、迅速・正確且つ安全にお客様への対応ができ、周囲との協調性を大切にしながら、企業の方針・目標を理解した上で、顧客管理およびコスト意識を忘れず、主体的に業務を行う事ができる。

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に修得目標を下記のように定めます。

※徹底育成とは「能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導する」ことです。

《専門職業力》の修得目標

「知識」

国内旅行業務取扱管理者を取得すると共に航空業界の基礎的知識（国内航空運送約款を理解している。国内線の運賃の種類<割引含む>と払戻し・取消し手数料を理解している。カウンター及び機内業務を理解している）と旅行知識（国内地理、約款、業法）を身に付け、その知識を現場で活用できることを目標とする。

「技術」

able 国内線検定中級を取得すると共に able を活用した実習、空港カウンターや機内での接客技術を身に付け、現場での基本的な接客対応（空港や機内で適切な言葉・内容でアナウンスができる。国内線業務にあたりカウンターでの航空券販売・受託手荷物の手続きができる。機内でのエコノミークラスの基本サービス<ドリンク、ブランケット、雑誌等をお渡しする>ができる。）ができることを目標とする。

《社会人基礎力》の修得目標

目指す職業の社会的意義及び業務内容を理解すると共に、その魅力・やりがい・厳しさを認識した上で、就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになる事、及び業界人として相応しい身嗜みと接客マナーを身に着ける事を目標とする。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

就業に必要な知識を身に付け、「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」「時間管理」を習慣化すると共に、仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解し、その為に必要なコミュニケーション能力を高める事を目標とする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

- 【1】「戦力化」する人材となるために教育目標で定めた専門職業力の修得目標の達成を目指します。
- 【2】「辞めない」人材となるために教育目標で定めた社会人基礎力と高い職業意識と意欲の修得目標の達成を目指します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職業力としての知識と技術は、国内旅行業務取扱管理者・able 国内線検定中級・空港カウンターや機内での接客技術習得に必要な教科目に加え、エアラインの現場で必要とされる実践的な技術（空港や機内で適切な言葉・内容でアナウンスができる。カウンターでの航空券販売・受託手荷物の手続ができる。機内でのエコノミークラスの基本サービス<ドリンク、ブランケット、雑誌等をお渡しする>ができる。）を教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ教科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。また、技術は学ぶだけではなく、接客を想定しどのように表現できるかを評価することとします。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は、社会人に求められるマナーの習得を基本とし、エアラインの現場で求められるコミュニケーション力を養うため、実践科目に於いてグループワークや実技発表の機会を多くとり、エアラインスタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成のために、学内での学びがエアラインの現場でどのように活かされるのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整えるため、空港への見学、訪問を繰り返し行うカリキュラムを編成します。それによりエアラインスタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい観光業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

経専北海道観光専門学校（エアライン科国際線コース）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

突発的な事も含む空港または機内業務において、迅速・正確且つ安全にお客様への対応ができ、周囲との協調性を大切にしながら、企業の方針・目標を理解した上で、顧客管理およびコスト意識を忘れず、主体的に業務を行う事ができる。

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない」）を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に修得目標を下記のように定めます。

※徹底育成とは「能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導する」ことです。

《専門職業力》の修得目標

「知識」

基礎語学力検定（TOEIC スコア 600 以上又は中国語検定 3 級又は韓国語能力試験 3 級）を取得すると共に航空業界の基礎的知識（航空運送約款を理解している。運賃の種類<割引含む>と払戻し・取消し手数料を理解している。カウンター及び機内業務を理解している）を身に付け、その知識を現場で活用できることを目標とする。

「技術」

INFINI 国際線予約中級を取得すると共に、1 年次に身に付けた語学を用いた空港カウンターや機内での接客技術を身に付け、現場での基本的なサービススキル（空港や機内で適切な言葉・内容でアナウンスができる。カウンターでの航空券販売・受託手荷物の手続ができる。機内でのエコノミークラスの基本サービス<ドリンク、ブランケット、雑誌等をお渡しする>ができる。）ができることを目標とする。

《社会人基礎力》の修得目標

目指す職業の社会的意義及び業務内容を理解すると共に、その魅力・やりがい・厳しさを認識した上で、就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになる事、及び業界人として相応しい身嗜みと接客マナーを身に着ける事を目標とする。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

就業に必要な知識を身に付け、「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」「時間管理」を習慣化すると共に、仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解し、その為に必要なコミュニケーション能力を高める事を目標とする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

- 【1】「戦力化」する人材となるために教育目標で定めた専門職業力の修得目標の達成を目指します。
- 【2】「辞めない」人材となるために教育目標で定めた社会人基礎力と高い職業意識と意欲の修得目標の達成を目指します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職業力としての知識と技術は、基礎語学力検定（TOEIC スコア 600 以上又は中国語検定 3 級又は韓国語能力試験 3 級）・INFINI 国際線検定予約中級・空港カウンターや機内での接客技術習得に必要な教科目に加え、エアラインの現場で必要とされる実践的な技術（空港や機内で適切な言葉・内容でアナウンスができる。カウンターでの航空券販売・受託手荷物の手続ができる。機内でのエコノミークラスの基本サービス<ドリンク、ブランケット、雑誌等をお渡しする>ができる。）を教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ教科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。また、技術は学ぶだけではなく、接客を想定しどのように表現できるかを評価することとします。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は、社会人に求められるマナーの習得を基本とし、エアラインの現場で求められるコミュニケーション力を養うため、実践科目に於いてグループワークや実技発表の機会を多くとり、エアラインスタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成のために、学内での学びがエアラインの現場でどのように活かされるのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整えるため、空港への見学、訪問を繰り返し行うカリキュラムを編成します。それによりエアラインスタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい観光業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

経専北海道観光専門学校（ウェディング科）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

新郎新婦の要望を確認しながら、お客様一組一組に合わせた提案と想いを「カタチ」として創り上げることができ、周囲との協調性を大切にしながら、企業の方針・目標を理解した上で、顧客管理およびコスト意識を忘れず、主体的に業務を行う事ができる。

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に修得目標を下記のように定めます。

※徹底育成とは「能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導する」ことです。

《専門職業力》の修得目標

「知識」

3級ブライダルコーディネーター技能検定を取得し、そこから得られる基礎的な知識（婚礼における用語や備品の知識。挙式及び披露宴の一般的な流れに関する知識。婚礼スタッフの基本業務<新規接客業務、婚礼打合せ業務、施行・進行管理業務>の流れに関する知識）を現場で活用できることを目標とする。

「技術」

ホテル・レストランサービス技能検定3級を取得すると共に、ブライダル基礎技術（テーブルセッティングができる。ブーケ・装花の製作ができる。ヘアメイク補助、衣裳の提案とフィッティング補助ができる。）を身に付けアシスタントとしての基本動作（衣裳・小物の準備及び片づけ）ができることを目標とする。

《社会人基礎力》の修得目標

目指す職業の社会的意義及び業務内容を理解すると共に、その魅力・遣り甲斐・厳しさを認識した上で、就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになる事、及び業界人として相応しい身嗜みと接客マナーを身に着ける事を目標とする。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

就業に必要な知識を身に付け、「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」「時間管理」を習慣化すると共に、仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解し、その為に必要なコミュニケーション能力を高める事を目標とする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

- 【1】「戦力化」する人材となるために教育目標で定めた専門職業力の修得目標の達成を目指します。
- 【2】「辞めない」人材となるために教育目標で定めた社会人基礎力と高い職業意識と意欲の修得目標の達成を目指します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職業力としての知識と技術は、3級ブライダルコーディネーター技能検定やホテル・レストランサービス技能検定3級に必要な教科目に加え、ブライダル現場で必要とされる実践的な技術（テーブルセッティングができる。ブーケ・装花の製作ができる。ヘアメイク補助、衣裳の提案とフィッティング補助、衣裳・小物の準備及び片づけができる。）を教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ教科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。また、技術は学ぶだけではなく、接客を想定しどのように表現できるかを評価することとします。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は、社会人に求められるマナーの習得を基本とし、ブライダルの現場で求められるコミュニケーション力を養うため、実践科目に於いてグループワークや実技発表の機会を多くとり、ブライダルスタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成のために、学内での学びがブライダルの現場でどのように活かされるのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整えるため、ブライダル施設・ホテルへの見学、訪問を繰り返し行うカリキュラムを編成します。それによりブライダルスタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい観光業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

経専北海道観光専門学校（旅行科）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

旅行会社で販売する商品知識を駆使して自らお客様に提案することができ、周囲との協調性を大切にしながら、企業の方針・目標を理解した上で、顧客管理およびコスト意識を忘れず、主体的に業務を行う事ができる。

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に修得目標を下記のように定めます。

※徹底育成とは「能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導する」ことです。

《専門職業力》の修得目標

「知識」

国内旅行業務取扱管理者試験を取得し、そこから得られる旅行（各種交通機関含む）を扱う上での基礎的な知識（旅行業約款における申込及び取消しに関する知識。47都道府県の有名観光地情報を提供することができる知識。北海道発着の飛行機、JR、フェリーの割引運賃の提案ができる知識）を現場で活用できることを目標とする。

「技術」

旅行業法・約款、国内外地理、各種交通機関（飛行機、JR、バス、フェリー）の運賃の仕組み、出入国法令実務等の知識を駆使し実際のお客様との基本的な接客対応（able検定中級以上の技術を身に付け、国内線予約発券ができる。パッケージツアーの申し込み期限・支払い期限を把握し説明ができる。海外旅行の受付に際し、パスポートの内容を確認し渡航先においての必要事項や注意点を説明できる）ができることを目標とする。

《社会人基礎力》の修得目標

目指す職業の社会的意義及び業務内容を理解すると共に、その魅力・遣り甲斐・厳しさを認識した上で、就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになる事、及び業界人として相応しい身嗜みと接客マナーを身に着ける事を目標とする。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

就業に必要な知識を身に付け、「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」「時間管理」を習慣化すると共に、仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解し、その為に必要なコミュニケーション能力を高める事を目標とする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

- 【1】「戦力化」する人材となるために教育目標で定めた専門職業力の修得目標の達成を目指します。
- 【2】「辞めない」人材となるために教育目標で定めた社会人基礎力と高い職業意識と意欲の修得目標の達成を目指します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職業力としての知識と技術は、国内旅行業務取扱管理者試験に必要な教科目に加え、旅行・鉄道の現場で必要とされる実践的な技術（able 検定中級以上の技術を身に付け、国内線予約発券ができる。パッケージツアーの申し込み期限・支払い期限を把握し説明ができる。海外旅行の受付に際し、パスポートの内容を確認し渡航先においての必要事項や注意点を説明できる）を教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ教科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。また、技術は学ぶだけではなく、接客を想定しどのように表現できるかを評価することとします。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は、社会人に求められるマナーの習得を基本とし、旅行会社の現場で求められるコミュニケーション力を養うため、実践科目に於いてグループワークや実技発表の機会を多くとり、旅行スタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成のために、学内での学びが旅行会社の現場でどのように活かされるのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整えるため、旅行施設への見学、訪問を繰り返し行うカリキュラムを編成します。それにより旅行スタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい観光業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

経専北海道観光専門学校（鉄道科）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

鉄道会社で販売する商品知識を駆使して自らお客様に提案することができ、周囲との協調性を大切にしながら、企業の方針・目標を理解した上で、顧客管理およびコスト意識を忘れず、主体的に業務を行う事ができる。

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。この教育目標を達成する為に、現場3要素別に修得目標を下記のように定めます。

※徹底育成とは「能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導する」ことです。

《専門職業力》の修得目標

「知識」

国内旅行業務取扱管理者試験を取得し、そこから得られる駅業務を扱う上での基礎的な知識（47都道府県の有名観光地情報を提供することができる知識。JRを含む国内航空機関の運賃の提案ができる知識）を現場で活用できることを目標とする。

「技術」

旅行業法・約款、国内外地理、各種交通機関（飛行機、JR、バス、フェリー）の運賃の仕組み、出入国法令実務等の知識を駆使し実際のお客様との基本的な接客対応（旅行商品の申し込み期限・支払い期限を把握し説明ができる。海外旅行の内容を確認し渡航先においての必要事項や注意点を説明できる）ができることを目標とする。

《社会人基礎力》の修得目標

目指す職業の社会的意義及び業務内容を理解すると共に、その魅力・遣り甲斐・厳しさを認識した上で、就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになる事、及び業界人として相応しい身嗜みと接客マナーを身に着ける事を目標とする。

《高い職業意識と意欲》の修得目標

就業に必要な知識を身に付け、「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」「時間管理」を習慣化すると共に、仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解し、その為に必要なコミュニケーション能力を高める事を目標とする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

- 【1】「戦力化」する人材となるために教育目標で定めた専門職業力の修得目標の達成を目指します。
- 【2】「辞めない」人材となるために教育目標で定めた社会人基礎力と高い職業意識と意欲の修得目標の達成を目指します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職業力としての知識と技術は、国内旅行業務取扱管理者試験に必要な教科目に加え、鉄道会社の現場で必要とされる実践的な技術（旅行商品の申し込み期限・支払い期限を把握し説明ができる。海外旅行の内容を確認し渡航先においての必要事項や注意点を説明できる）を教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ教科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。また、技術は学ぶだけではなく、接客を想定しどのように表現できるかを評価することとします。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は、社会人に求められるマナーの習得を基本とし、鉄道会社の現場で求められるコミュニケーション力を養うため、実践科目に於いてグループワークや実技発表の機会を多くとり、鉄道スタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚させ実践できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成のために、学内での学びが鉄道会社の現場でどのように活かされるのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整えるため、鉄道施設への見学、訪問を繰り返し行うカリキュラムを編成します。それにより鉄道スタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい観光業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。